

鶴岡ロータリークラブ会報

839

1976-1-20 No.30

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 午後 12.30 ~ 1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

◆ 点 鐘

◆ ロータリーソング (それでこそロータリー)

◆ ビジターゲスト紹介

◆ 会長報告

- ◆ 新年会の件
- ◆ 今後1カ月を会員増強月間とする。
- ◆ 各委員会活動状況
- ◆ インターアクト親善研修旅行団訪米のインターアクト地区委員長 三井徹君、報告予定のところ欠席のため次回に変更

◆ 幹事報告

- ◆ 例会—天童RC 1月16日(金)に変更
会報到着—能代、本荘、新発田、東京RCから

◆ 委員会報告

- ◆ 家族新年会のオークション収入 155,780円はスマイルボックスへ
- ◆ 親睦委員長スマイル 飯白祐佑君 全国表彰
板垣俊次君 誕生祝い

◆ 出席報告

◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!

会長報告

佐藤 忠

1. 去る13日PM3:00より商工会議所に於て第4回クラブ協議会を開催し、会計よりクラブ会計の現況と今後の見通しについて報告。ついで各委員長より上半期活動報告と下半期活動の具体化について発表、検討された。
 - ・特に予算収入の面からも会員増強を考え、本日より1カ月間会員増強月間と定め、その充填に最大のご協力をお願い致します。
 - ・新会員に対する情報（フォーラム）はその後充分時間をかけ実施する。予算面も親睦委員会と連携し配慮する。
 - ・出席率は残念ながら上半期90%台にならず終わったが、欠席の内容等よく分析し、後半には本年度目標の92%にもっていきたい。
 - ・ロータリー財団へ目標1700%にするため今後準フェローの募集を進めたい。
 - ・職業奉仕～2～3月事例研究を実施。
 - ・社会奉仕部門は予算を伴う活動は殆ど完了した。
 - ・国際奉仕部門は今回2月台中港RC表敬訪問（盟約1周年記念式典）実施。
2. 第353地区第2回インターアクト親善研修旅行から1月11日無事帰国されました。一行16名の団長三井徹君（地区委員長）ご夫妻誠に苦勞様でした。国際親善により、ますます友好の輪をひろめ、また健全な青少年育成、特に国際的視野をひろめる大きな研修の意義があったものと思います。ありがとうございました。
3. 姉妹クラブ台中港区RC会長、呉金生氏より盟約1周年記念式典（2月16日 PM6:00）参加に対する次の通り歓迎の文書が届いて居ります。国際親睦委が詳細企画立案中。

台湾省台中県清水鎮文昌街30

呉 金 生 （台中港区扶輪社）

拝啓 厳冬の候、貴クラブ益々御発展の段、慶賀至極に存じ上げます。

扱て、12月23日付御手紙有難く頂戴致しました。

光陰流水の如しとか、貴クラブと姉妹クラブを締結してから早や一年の歳月は経ちました。この間貴クラブの御協力を得、公私にわたり交流を重ね、国際親善を深めつつあることは、相互共に誠に喜ばしいことであり、殊にこのたびの姉妹クラブ結盟1周年記念式典参加のため、特別に実行委員会を組織し、諸般の準備を進めていることなど、貴クラブのその熱誠ぶりは感服の至りであり、双手を挙げて御来訪を歓迎致す次第であります。是非多くの会員様の御来訪をお待ち申しております。（後略）

アメリカに学びたいこと

インターアクト米国親善研修旅行を終えて

伊 藤 正 之

（国立鶴岡工業専門学校助教授
インターアクト・クラブ顧問教師）

第2回インターアクト米国親善研修旅行に参加させていただき、先方の533地区のロータリーの方々、多くのインターラクターの方々のご協力とご好意により予想以上の成果をあげて11日、全員無事に帰ってまいりました。

貴重な時間をお借りして、感想を二、三お話ししてみたいと思います。

(1) サンパナディーノ市は緑を大切にする都市

ご存知のようにロスアンゼルスやサンパナディーノは雨が少ないことで知られており、遠くのダムより水を引いており、いわば水は貴重品なのでありますが、少なくとも日に1回スプリンクラーによって公共施設の木々や芝生に水をやり、全市民が緑を大切にしております、うらやましく思いました。

(2) 職業意識に徹しているアメリカ人

サンフランシスコに滞在中、サー・フランシス・ドレークというホテルに泊まったわけですが、そのレストランで働いているウェイトレスは、わずか3人で30人~40人ぐらいの客の夕食のサービスにあたっております。日本のレストランでは、同じサービスに2倍か3倍の人数であたっているのが常ですが、あのように自分の職業に誇りを持って、笑顔をたやさぬ職業意識に徹する彼女達に敬愛の念を禁じ得ませんでした。

(3) ロウ先生からお教えいただいたこと

私達がホーム・スティで世話になったロウご夫妻は、お2人ともパークレーのカリフォルニア大学のご卒業で、ロウ博士は南カリフォルニア大学の大学院で長らく図書館学を講じておられ、現在は退職され、70歳を越えておられるようにお見受けいたしました。博士のお話の中に「……人間はいかなる年齢においても、生きる目標を持たなければならぬと思います。私は2年前から電子オルガンを習っております。この練習は私の生活をより豊かなものにしております。……」この博士のお言葉には深く感じ入りました。

近く今回の私達の研修旅行の報告書がまとめられるように聞いておりますので詳しくは、その方にゆずりたいと思います。最後に私達に、このような機会を与えてくださった鶴岡ロータリーの皆さんや353地区のロータリアンの皆さんに、心から感謝申し上げたいと思います。

深めた国際理解

鶴岡工専インターアクト 斎藤 稔

このたびロータリーの方々のおかげで、とつても貴重な体験をすることができて、まことにありがとうございました。

見るもの聞くもの、すべてが予想していた以上にすばらしく、まさに「百聞は一見にしかず」ということばがしみじみとわかりました。

サンパナディーノでは、向こうのインターアクトの人たちとも、とつても親しくなり、彼らの活動や生活など、いろいろと知って、ほんとに勉強になりました。

また私としても、こちらの活動など、いろいろと話してきたつもりですから、国際理解という点では、大きな成功をおさめたいと思っています。

私は、この研修旅行を、ただ「楽しかった」などと言って、終わるのではなく、せつかく向こうの人たちと交流できたのですから、この機会に、なんとか、もっと大きな交流をつくって国際理解をさらに深めていこうと思っています。

ほんとうにいろいろとありがとうございました。

年男にちなんで

佐藤 順 治

十二支とはご存知の通りね、うし、とら、う、たつ、み、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、と12の動物の年を表わしております、その動物の生れ年の性格は、その動物の性質と大変似ているようでございます。

例えば「う(兎)」年の人は腰が軽く外交官とか、セールスマン等に適した性格の持主が多くまた「み(猪)」の年人は極めて一本気で何事にも本気で取り組み、よく言われております「猪突猛進型」の人が多くに思われます。こんな例は枚挙にいとまありません。

ただ一つ例外があります。これが「たつ」であり「今年、であり、私の「年男」であるわけです。では「たつ」年の人の性格は、どんなものでありましょか?

さて、荘内日報の元旦号に面白いことが書いてありましたのでご披露申し上げます。

景気上昇に縁がある辰

昭和51年は辰(たつ)年、辰は景気上昇に縁があるとして庶民に期待される年である。

辰は竜のことで、竜にまつわる物語や伝説は全国的に多い。百科事典によれば、竜は古代の中国人が想像した変幻自在の靈獣で頭に角があり、胴は大蛇のようにウロコがあり、鋭いつめのある四足もっている。

竜はすぐれた存在にたとえられ天子の顔を竜顔、徳を竜徳、位を竜位といい、ものの最もたいせつな一点を成しとげることを竜点睛という。

中国の黄河で三段の滝をなすところを竜門といい、ここをコイが上れば竜になるということから立身出世する関門は登竜門といわれてきた。また、ものごとの始めは威勢よく、終わりが衰えることを竜頭蛇尾といっている。

このように竜は、偉大なもの、すぐれたもの、の象徴で人間生活になじみ深く、中でも竜宮のおとぎ話はほとんどの人が知っているであろう。まだまだ続くのですが、要するに竜は中国人が想像した変幻自在の靈獣ということでありますので、結局得体の知れない性格のように思われます。ですから我々たつ年生まれの性格を的確に判断出来るのは第三者である皆様方ではないかと思えます。

兎に角今年は「たつ」年であるから景気上昇の年でありますし、加えて最近の新聞、テレビで喧伝されている政府の景気浮揚対策に便乗し、昇り竜の如く皆様と共に繁栄出来ますよう期待したいものであります。

昇り龍のごとく

内山喜一

先日は銀杯を頂き、今日は年男として、ごあいさつをさせて頂く。正月早々大変光栄と存じます。

時にご覧の方も多いと思いますが、荘内日報の元旦第4号に「辰年にちなんで」と題する特集がございました。それに依りますと、日本全国で「竜」の名をつけた山とか川。洞窟で、最も有名なもの12カ所もあるそうで、例えば川ですと天竜川と申すようにでございます。なお地元庄内における、「竜」の名をつけた寺院は19寺あるようでございます。(鶴岡7、温海、遊佐各3、酒田、平田町各2、清川、藤島各1)

さらに昨年中頃と思いましたが、中国のある地区から、発掘されました2千年前と推定される遺体から、その衣服でしたが、「竜」の文字が発見されております。辰とか竜とかはこのように、誠に縁起のよいもののようにでございます。

先日、昨年の「卯」と、本年の「辰」で、ウダツが云々とございましたが、卯は既に過ぎ去った「エト」ですので、少々わきにご遠慮願ひまして今年の「辰」で大いに立つ立ち上る。竜はもちろん、昇り竜で今年も大いに張り切って参りたいと存じます。

出席報告

本日の出席	会員数 70名 出席数 49名 出席率 70.00%	欠席者	阿部(公)君、佐藤(宇)君、菅原(辰)君、平田君、石井君、安藤君、五十嵐(伊)君、玉城君、風間君、今野君、三井(徹)君、森田君、齋藤(栄)君、齋藤(信)君、佐藤(伊)君、佐藤(衛)君、笹原君、菅原(啓)君、鈴木(弥)君、高橋(正)君、横山君
前回の出席	前回出席率 78.57% 修正出席数 63名 確定出席率 90.00%	マークアップ	阿部(公)君、安藤君、嶺岸君、中野(重)君、横山君、手塚君、清水君、山本君一鶴岡西RC
ビジター	羽根田正吉君、佐藤拓君一鶴岡西RC		